

令和3年第4回燕市議会定例会  
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
12月8日(水)	午前	1	堀 勝重 議員		○	
	午後	2	小林 由明 議員		○	
		3	樋浦 恵美 議員		○	
		4	齋藤 信行 議員	○		
9日(木)	午前	5	埴 豊 議員		○	
		6	柴山 唯 議員		○	
	午後	7	田澤 信行 議員		○	
		8	土田 昇 議員		○	
		9	柳川 隆 議員		○	
10日(金)	午前	10	渡邊 雄三 議員		○	
		11	大岩 勉 議員		○	
	午後	12	岡山 秀義 議員		○	
		13	丸山 吉朗 議員		○	
		14	宮路 敏裕 議員		○	
13日(月)	午前	15	長井由喜雄 議員		○	
		16	タナカ・キン 議員		○	

令和3年第4回燕市議会定例会「一般質問表」

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
1	堀 勝重 (一問一 答方式)	1. 鈴木市長 の政治姿勢 について	(1) 来年4月に 行われる燕 市長選挙に ついて	<p>① 鈴木市長が初当選されてからの市政運営と、市長選出馬の折りに作成されたリーフレットを含め、私なりに振り返らせてもらいますと、そこに掲げられたマニフェスト及び、第2次燕市総合計画に沿った形で、着実に取り組まれ、手応えを感じる成果が出てきているものと受け止めております。</p> <p>また、鈴木市政になられてから、「持続可能なまちづくり」のために、財源確保に特に力を注がれた「ふるさと燕応援寄附金」については、県内トップといった素晴らしい実績を上げられております。財源確保が順調になってきた今、ようやくご自身が思い浮かべてこられた各種政策・事業等に、手掛けることができるようになったものと推察しております。中でもこれから着手される、「ビジョンよしだ」の大規模改修工事、全天候型こどもの遊戯施設整備事業については、市長の任期満了後の竣工予定となっており、まさに道半ばという状況にあります。他にもやり残している政策や事業がまだ沢山あるのではないですか・・・。</p> <p>このような執行中の事業はもとより、これから取り組まれようとしている施策等についても、私は是非、しっかりと最後までやり遂げて欲しいと思っております。</p> <p>については、燕市の更なる発展のために、4期目、引き続き市政を担っていただきたいと強く思うが、鈴木市長の考えを伺います。</p>
		2. 高齢者福 祉について	(1) デイサービ ス利用の推 進とPRに ついて	<p>① 以前から、現在元気に過ごされている高齢者の方の中で「もし身体が思うように動けなくなっても、デイサービスの利用はしない」といった方々が少なからずおられると聞きます。その理由はさまざまですが、デイサービスの特性や長所等(友達・入浴・食事・見守り等)を、もっとPRしていただき、より良い理解をして頂くことが重要であると思っております。</p> <p>デイサービス等の事業内容等について、特化した分かりやすいチラシを作成し、市内各地域に活動されている「高齢者サロン」等の場を活用して、参加者に配布することや、それを用い、現在デイサービス等利用されている方からお話をさせていただくなどしてみたいかか伺います。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
2	小林由明 (一問一答方式)	1. 都市環境の変化について	(1) 基幹病院へのアクセスについて	<p>① 県央基幹病院隣接地には大学などの教育施設が建設されるとともに、周辺にはマンションなどの集合住宅を含む新しい住宅や店舗の建設が進んでおり、さらに今後、大型商業地施設の建設計画もあると聞いている。</p> <p>県央基幹病院が立地する井土巻・須頃地域はこれまでも交通混雑が発生しているが、今後開発が進むことで狭いエリア内で、さらなる交通量増加による交通障害が発生し、それにより、救命を担う県央基幹病院へのアクセスが機能不全に陥るのではないかという不安の声が届いている。</p> <p>今後の開発計画がどのようなになっており、基幹病院アクセスへの影響の有無や、程度について市は把握しているか。</p> <p>② 基幹病院へのアクセスに深刻な影響及ぼすことのないよう、市としても今後の開発を注視し、燕市民の安全安心のために必要な対策を講ずるべきではないか。</p>
			(2) 中ノ口川堤防道路の建築物解体とその後について	<p>① 燕橋西詰周辺から中央橋に至るまでの堤防道路について、ここ数年、道路沿いの建築物の解体が増えているが、解体後の跡地の多くは地面がむき出しになっており、建物基礎が残されている場所もある。こうした跡地は、車両の通過や風が吹く度に砂が舞い、また、雑草の繁茂や虫などが発生する管理不全空き地の様相を呈している。</p> <p>交通量の多い道路でもあり、多くの人がそうした状態を目の当たりになっているが、好ましいといえない景観は燕の印象を損なっている。なぜ、こうした状態となっているのか、活用可能性はあるのか、今後の整備計画はどのようなになっているのかなど、当該地域の堤防道路の実情と今後のあり方について市の考えを伺いたい。</p> <p>② 燕東小学校土手には、花壇と駐車スペースが設けられており、かつては市日(いちび)関係者が駐車したり、学校や幼稚園の行事の際の駐車スペースや、花火見物のスペースとしても活用されたりしている。</p> <p>燕橋から中央橋間の堤防道路上の建物解体跡地についても、順調に進むマチナカ再生の後押しとなる、有益で効果的な活用を検討すべきでないか。</p>
		2. 教育委員会の取り組みについて	(1) 教育長就任から1年を経たこれまでの取り組みについて	<p>① 令和2年9月に現教育長が任命され1年が経つ。教育長人事について、議会同意が求められた当時の全員協議会において、教育委員会には課題が山積しているとの認識を市は示している。任命後1年、教育長は教育委員会の組織運営上の課題(いわゆるマネジメント)について、どのような問題意識を持ち、その解決改善にどのような取り組みを行ってきたか伺いたい。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
2	小林 由明 (一問一答方式)	2. 教育委員会の取り組みについて	(2) G I G A スクール構想による児童生徒へのタブレット配置後の課題について	①児童生徒に一人一台のタブレットが配置されたが、現在どのような課題が見え、そこにどのように向き合っているか、また今後の活用について伺いたい。 ②一人一台にタブレットが配置されるまで、I C T 教育で使用されていた P C や関連機器などについて、現在どのような活用がなされ、今後どのように扱っていくと考えているのか伺いたい。(現在の台数、費用、リース内容について、今後の扱いについてのこれまでの検討内容、今後見込まれる費用)
3	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 高齢者施策について	(1) 難聴者に対する支援について	①加齢による聴力機能の低下は生活の質の低下につながり、認知症の発症要因の一つであるといわれ、難聴者の比率は高まっています。 障がい者手帳の交付対象にならない聴力レベルの方への支援に力を入れ、本市においても補聴器の購入費用に対する助成制度を設けるべきであると思いますが、市の考えを伺います。
			(2) ごみ出し支援について	①足腰の衰えなどでごみ出しが困難な方が増え、本市においても、ごみ出し支援は喫緊の課題であると考えます。環境省は、高齢化社会に対応した廃棄物処理体制として、本年3月に高齢者のごみ出し支援体制導入の手引きを公表しました。 支援制度を導入している自治体では、ごみ出し支援だけではなく、声掛けや見守りにもつなげています。本市として、高齢者へのごみ出し支援に積極的に取り組むべきであると思いますが、市の考えを伺います。
		2. ヤングケアラーへの支援について	(1) ヤングケアラーへの支援について	①「県は有識者でつくる「ヤングケアラー支援検討会議」の初会合を開き、効果的な支援体制を構築するため、県内の実態調査を8、9月に行う方針を示した」との新聞報道がありました。どのような実態調査が行われたのか伺います。 ②実態を把握されたうえで、本市としてどのような支援が必要なのか考えを伺います。
4	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. 小中学校の教育課題について	(1) 未来志向の教育について	①今年のノーベル物理学賞を受賞した真鍋氏は、日本に帰らない理由について、「日本は調和のとれた関係だ。私は調和の中で暮らすことができないからだ」と話している。真鍋さんのこの言葉を教育に当てはめて考えたとき、今の課題をどのように捉えるか、また個人を認め、受け入れるアメリカに対して教育長の所見を伺います。 ②子供たちの「やりたい、なりたい」という夢は、調和を求めるだけではなく人と違っていても認められるという環境が大前提であると考えます。子供たちが夢や希望等未来に向けた思いをどのように育むか、教育委員会の考えを伺います。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	2. 中心市街地の活性化について	(1) 中心市街地の空き店舗について	①市内3地区の市街地の空き店舗について、市はどの程度の状況であるか認識されているのか伺います。 ②市内3地区の市街地の空き店舗について、出店されたケースがどのくらいあったのか年度別で伺います。
			(2) 中心市街地の活性化の取り組みについて	①市内3地区の市街地の取り組みはどうなっているのか。そして、その事業で効果が出ているのか、もし具体的な例がありましたら挙げてもらいたいと思います。 ②その後取り組んだが、うまくいかなかったとか、新型コロナウイルス感染症の影響などもあったのかも伺います。 ③うまくいった例もありましたら伺います。
		3. 空き家について	(1) 空き家の状態について	①現在の空き家の状況について伺います。 ②空き家の有効利用について伺います。 ③空き家バンクの現在の状況について伺います。
			(2) 空き家の課題について	①今後、相続などで税の問題もあると思います。現在、市ではそういう問題もあるのか伺います。 ②市の空き家に対しての支援は、どのように考えているのか伺います。
		4. ヤクルトスワローズのリーグ優勝について	(1) ヤクルトスワローズとの交流について	①市は今回のヤクルトスワローズのリーグ優勝に対して、交流・イベントなど考えているのか伺います。
5	埴 豊 (一問一答方式)	1. ふるさと納税について	(1) ふるさと燕応援寄附金の現状について	①非常に好調に推移した令和2年度と比較した現状について。 ②年度末までの見込みについて。
			(2) 今後について	①「下町ロケット」等、話題豊富であったこれまでと違い、今後の取り組みについて県内各市町村をはじめ、全国の中で燕市をいかにアピールするか。新年度への取り組みについて。
		2. 燕市の財政状況について	(1) 今回市が予定している大型補正予算について	①超大型補正予算が組まれるが、燕市に実際におりてくる額と中身について。 ②今年度の税収の見込みについて。
		3. いじめ問題について	(1) 早期発見、早期対応について	①教育委員会では、いじめの早期発見を重要視しているが、いかに早期発見に結びつけるのか。 ②早い対応は重要であるが、教職員へのスキルアップの手法について。 ③教育委員会、学校、保護者の位置関係と信頼構築に向けてどのように考えているのか。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	柴山 唯 (一問一答方式)	1. 今後の教育について	(1) 少子化における小中学校の在り方	<p>①松長地区では松長小学校の児童数の推移により、令和5年度から複式学級になると見込まれるので、子どもたちにとってよりよい教育を進めていくため、令和元年度より松長小学校の今後の在り方検討会が開催されてきた。今後10年で他の地域でも小学校の児童数の減少が起き、同じように学校の在り方について検討する状況になると予想される。</p> <p>今回の検討会での協議内容や意見、地域対応、進め方などを次に活かすため、教育委員会としての検討会に対する総括を伺う。</p> <p>②今回の検討会の設置は、燕市建物系公共施設保有量適正化計画から派生したものである。つまり、市の教育の未来を議論しての動きではない。燕市の子どもたちに望ましい教育とはどのようなものなのか、その方針も議論もなしに地域に統廃合か否かを検討していただくのはいかなものか。</p> <p>今後、市内の子どもの数が減ることは分かっていることである。まずは、今後の燕市における持続可能な教育方針・環境を今一度検討すべきである。その上で、学区再編や小中学校の適正配置を議論すべきと考えるが、市の考えを伺う。</p>
7	田澤 信行 (一問一答方式)	1. いじめの増加を抑制するために	(1) 文部科学省の児童生徒のいじめ等の調査結果について	<p>①令和3年10月13日付で「令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」が文部科学省のHPに掲載されていますが、本件に関して、市教育委員会ではどのような協議を行ったのか伺います。</p> <p>②調査結果の9ページ「学校において認知したいじめの件数」と、13ページの「暴力行為の発生件数」が都道府県別に掲載されておりますが、新潟県・山形県・大分県・宮崎県のデータからどのようなことが推測できますか。</p>
			(2) 児童虐待防止推進月間の取り組みについて	<p>①毎年11月は、児童虐待防止推進月間に指定されており、文部科学大臣からもメッセージが出ています。市教育委員会として児童虐待防止月間に対してどのように臨み、学校に対しては具体的にどのような指導・通知をしたのか伺います。</p> <p>②令和2年度と令和3年度での児童虐待防止推進月間に対する取り組みの違いについて伺います。</p>
			(3) 時代・環境の変化における対応について	<p>①SNSによる情報の発信や共有が当たり前となった令和の時代においては、いじめの「形や質」も多様化しているのではないかと推測しています。</p> <p>よって、その対策や教育、指導の仕方も環境(デジタル社会)に合わせ変化させなければいけないと思いますが、その点についていかがお考えか伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	田澤 信行 (一問一答方式)	1. いじめの増加を抑制するために	(3)時代・環境の変化における対応について  (4)いじめ情報に対する対応システムと責任の明確化について	<p>② SNSが情報発信のツールとなり、その利便性から多くの問題・課題が発生していることは日々の報道からも容易に認識することができます。教育長はデジタル社会における教育現場の変化、問題・課題解決に向けてどのようなリーダーシップを発揮すべきとお考えか伺います。</p> <p>① いじめ情報があった場合、学校内ではどのような運用ルールで情報共有、現状調査、再発防止策の立案と実施、ご家族への報告、市内の学校への情報共有を行っているのか伺います。</p> <p>② 教育長、並びに市長に対してはどの段階でどのような報告をするのか、また報告を受けて、教育長、市長はどのような指導を心掛けているのか伺います。</p> <p>③ いじめに歯止めをかけるということは非常に難しい課題であることは十分認識していますが、事案によっては看過できないものもあります。</p> <p>また、TV報道されれば一時的に教育委員会や学校側の責任問題を問われることもありますが、時間の経過とともに徐々に風化してしまっていることが実情だと思います。</p> <p>文部科学省の調査結果では、いじめの認知件数は平成25年から毎年、大幅に急増しており令和元年で330%まで増えています。この実態を燕市としても真摯に受け止め、現在の仕組みを改善する必要があると思いますが、責任の在り方を含め市長の見解を伺います。</p>
8	土田 昇 (一問一答方式)	1. 県立吉田病院の現地建替を早急に進めることについて	(1)急性期と回復期について	<p>① 令和5年に県央基幹病院が開院され、県立吉田病院はその後方支援病院と報道されてきたが、私から3月定例会の一般質問を行って以後、どのように進められてきたのか。</p> <p>県立吉田病院の指定管理者の公募に、6法人が興味を示していることは承知しているが、この間の経過報告と今後指定管理者の決定に、どのようなスケジュールで進めていくのか県の方針と市の対応について伺う。</p> <p>② 指定管理者制度については、民間活力を生かすことも大切であると思ひ否定はしませんが、病院関係は県の責任体制を明確にして、県立吉田病院の決定者には、地元地域の方々に丁寧に意見交換ができる状況を作ることが大切であると思うが、その方向について伺う。</p> <p>③ 令和3年3月定例議会の市長答弁では、「県央地域の医療構想調整会議の中で県立吉田病院などは、県央基幹病院の後方支援病院として高齢化社会を見据えた地域密着の病院と示された」と答弁しています。急性期も受けるし、回復期を中心とする医療を担う病院として、介護とはまったく別にやっていくのが基本であると考えている。県にその点について強く求めていくべきと思うが市長の見解について伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言者	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
8	土田 昇 (一問一答方式)	1. 県立吉田病院の現地建替を早急に進めることについて	(1) 急性期と回復期について	④ 県立吉田病院は耐震化が未了であり、老朽化が進んでいることから早急に現地建替を進めないと大変危険だと思うので、そのことについて県に強く求めるべきと思うが見解について伺う。
		2. 下水道問題について	(1) 西川流域との関係について	① 県内汚水処理人口の普及率が報道されました。県内30市町村の中で燕市は普及率が、28番目、下から3番目で64.8%と報道されている。県は整備が遅れている市町村に引き続き支援し、普及率の向上に努力するとしているが、下水道工事が完了した地域に対して「接続の問題」、集落関係では「集落排水」、さらに「合併処理浄化槽」の普及と見通しについて伺う。 ② 旧燕地区の下水道について、西川流域の下水道に合流できないか以前に提案しているが、その後の対応と今後の見通しについて伺う。
9	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 教育委員会のやっている事業について	(1) リーディングスキルテストのこと	① このプロジェクトは今年度からスタートし、2025年までの5か年計画となっているが、5年の理由を伺う。 ② 小学生は5年生以下が受検できなかったのはなぜか伺う。 ③ 今夏行ったようなテストを今後4年、毎年行うのか伺う。 ④ リーディングスキルテストは「係り受け解析」や「イメージ固定」など7種類の問題群で構成。パソコンやタブレット端末で受検。全員が同じ問題を解くのではなく、解答状況から受検者の能力に合う問題が自動選択されて出題される。この自動選択の仕組みについて伺う。 ⑤ 夏休み明けに児童生徒約2,500人が受検を終えた。10月上旬、研究主任の教員らを対象にした研修会で、課題や対策を検討する予定となっているが、どんなことが話し合われたのか伺う。 ⑥ AI研究者の新井紀子さんのオンラインによる講演では、「読解力を伸ばす授業の実践例として、教員が読み上げた複文(主語と述語が複数組み合った文)をノートに書き出す活動。子供たちは聞くことに集中し、頭の中で意味を考えて文字に変換する。併せて教員も黒板に書くことで、子供が文章を捉える力が身に付く」と言われているが子供たちが聞いて書くことは分かる。が、「教員が黒板に書くと子供が文章を捉える力が身につく」とはどうしてなのか伺う。
		2. 都市整備部の行政について	(1) 道路施設点検のこと	① この点検は、中央自動車道・笹子トンネル(山梨県)の天井板崩落事故を受け、2014年度から橋・トンネル・道路付属物について、5年に1回行うよう施設管理者に義務付けられた。2018年度までに1巡目の点検が完了し、2019年度から2巡目の点検が行われている。 県内の1巡目の点検は約25,000か所が対象で、5,495か所が早急に修繕が必要とされた。本市の1巡目の点検数と修繕が求められた件数を伺う。 (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	柳川 隆 (一問一答方式)	2. 都市整備部の行政について	(1) 道路施設点検のこと	<p>②国の公表の最も危険度の高い「緊急措置段階」の県内の件数と燕市の件数を伺う。</p> <p>③県内の「早期措置段階」は橋の部門では全体の20%を占めているが、燕市の橋は早期措置で全体のどれくらいを占めているのか伺う。</p> <p>④燕市の2巡目の昨年度末までの点検数を伺う。</p> <p>⑤県の道路管理課の担当者は「国土強靱化5か年加速化対策などが財源としてある」と話しているが、本市のその利用状況について伺う。</p>
10	渡邊 雄三 (一問一答方式)	1. 環境対策について	(1) 脱炭素社会への取り組みについて	①脱炭素化に向けた本市の今後の取り組みの方向性について、また、再生エネルギーの取り組みはどのように推進していくのか伺います。
		2. SDGsの取り組みについて	(1) SDGsの取り組みについて	<p>①自治体の果たす役割については、どのように考えているのか伺います。</p> <p>②SDGsの理念をどう地域に生かしていくか。燕市内でも理解が広がっていると思います。民間の団体でも勉強会等が進められていますが、そうしたところへの支援も必要と思うが、どのように考えているか伺います。</p> <p>③令和2年12月議会で何点か提案をしましたが、この1年間どのような検討をされてきたのか伺います。</p>
			(2) 教育委員会の取り組みについて	①SDGsの担い手を教育現場から育成することの重要性を質問し、答弁として、「持続可能な社会の創り手となる児童生徒を育成することがますます重要になると認識している」と話されたが、各学校に何を指導してきたのか、何を勉強し、何を推進してきたか伺います。
		3. 通学路の安全対策について	(1) 八街市で起きた通学路の事故の対応について	①本年6月、八街市で下校中の小学生5人が死傷した事故を受けて、通学路の安全対策について伺います。
			(2) 登下校時の見守り対策について	①小学校の登下校時の見守りについては、どのようになっているのか伺います。
			(3) 通学路の除雪対策について	①来年の1月・2月は降雪量が多いと言われているが、通学路の除雪対策について伺います。
		4. 高齢者の安心安全について	(1) 認知症の人の見守りについて	①認知症高齢者の徘徊への対策を伺います。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	大岩勉 (一問一答方式)	1. 県央基幹病院・燕市側からのアクセス道路整備について	(1) 県央基幹病院開院前のアクセス道路整備進捗状況を伺う	① 県央基幹病院は県央地域の拠点病院として整備が進められているが、開院が2年後と迫る中、燕市側よりのアクセス道路計画の進捗状況を伺う。 ② 燕橋経由の県央基幹病院までの計画路線を伺う。 ③ 県央大橋経由の県央基幹病院までの計画路線を伺う。 ④ 八王寺橋経由の県央基幹病院までの計画路線を伺う。
		2. 燕市が所有するセーフティタワーの活用について	(1) セーフティタワーの活用について	① セーフティタワーは燕東小学校と、燕西小学校の校庭に設置されているが、それぞれの建設設置費を伺う。 ② 今までに利用活用した回数を伺う。 ③ 当時の計画では各小学校に設置予定とされていたが、今後の設置予定はあるのか伺う。
		3. 使わない(使えない)市内小中学校のプール状況について	(1) 使わない(使えない)市内小中学校のプール状況について	① 市内小中学校のプール(水泳)授業の現状を伺う。 ② 市内小中学校の水泳大会は開催されたのか伺う。 ③ 雑草だらけの小学校プール。管理・整備だけは、されるべきと思うが伺う。
		4. 通水100年を迎える信濃川大河津分水の歴史を称え、淡水魚水族館建設を	(1) 楽しめる淡水魚水族館の建設を考えたかどうか	① 道の駅国上か産業史料館隣接地に、集客できる淡水魚水族館を建設されたらどうか伺う。 ② 信濃川大河津分水・中ノロ川に生息する淡水魚は多いと思われます。小さな水族館で観光交流人口が期待できるのではないかと伺う。 ③ 地域の文化を感じ、遊び心のある小さな淡水魚水族館「ぎょぎょランド」について、夢があると思いませんか。
12	岡山秀義 (一問一答方式)	1. 通学路の安全対策について	(1) 通学路の安全点検について	① 今年6月、千葉県において下校中の痛ましい交通事故が発生しました。この事故を受け、更なる安全対策を講じるため、文部科学省・国土交通省・警察庁の3省庁による「幹線道路の抜け道」・「大型車の侵入が多い箇所」・「ヒヤリハット事例があった箇所」・「市町村への要請があった箇所」等について、再度安全対策を確認する必要があることが示されました。 このことを踏まえ、燕市の通学路の安全対策について質問いたします。直近で行った通学路点検の方法や、時期についてお伺いします。 ② 小中学校区ごとの報告件数についてお伺いします。 ③ 通学路点検の結果に対する、市の対応についてお伺いします。 ④ 通学路点検の結果に対する安全対策については、優先順位等を判断する必要があると考えますが、市はどのような基準で判断をされているのかお伺いします。 ⑤ 通学路点検の結果について、どのように学校や保護者にフィードバックしていくのかお伺いします。
			(2) 燕市通学路安全プログラムについて	① 児童生徒がより安心して通学できるように「燕市通学路安全プログラム」を策定し、通学路の安全確保を図っていますが、これまでの通学路点検の結果を踏まえ、最重要課題等、策定状況についてお伺いします。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
12	岡山秀義 (一問一答方式)	1. 通学路の安全対策について	(3) カーブミラーについて	① 市内全域でカーブミラーの老朽化が進んでいます。近年の異常気象により、日々折損の危険があります。また、黄砂などによりミラーとして機能していないカーブミラーも多いのが現状です。市民の「いのち」を守るためのカーブミラーが、管理されてなければ「いのち」をも奪う凶器となりかねません。カーブミラーの安全点検・整備について進捗状況をお伺いします。
		2. 放課後児童クラブの現状と課題について	(1) 利用状況と児童の安全について	① 放課後児童クラブは児童の健康面・精神面・遊びへの活動意欲や、態度の形成を図りながら子供が安心して放課後を過ごせるようサポートする大切な役割もっています。現在の利用状況についてお伺いします。 ② 放課後児童クラブ施設において、大人が目線では気付くことのできない「危険個所」が多くあると思います。子供たちが安心して過ごせるよう、子供目線で事前に「危険個所」を把握し事故を阻止するために、どのような対策がなされてきたのかお伺いします。また、今年度に起きたケガなどの事例と対応についてお伺いします。 ③ 緊急災害発生時に速やかに安全に回避するための避難訓練、ウイルス等感染症流行時における対応について伺います。
			(2) なかまの会の児童クラブ化推進事業について	① 市内いずれの小学校区においても、同様のサービスを提供するため、既存のなかまの会について、順次児童クラブ化を進めています。令和4年度に燕南小学校区で開設する「つばめみなみ児童クラブ」の申込状況や今後の取り組みについてお伺いします。
		3. 子どもの「いのち」を守るために	(1) 児童虐待防止について	① 直近の通告件数についてお伺いします。 ② 通告把握後、解決に向け、どのような取り組みが行われたのかお伺いします。 ③ 子供たちの未来や、一人ひとりの尊い「いのち」を守るためにどのように向き合い、取り組んでいくのかお伺いします。
13	丸山吉朗 (一問一答方式)	1. 商工会について	(1) 吉田商工会、分水商工会合併について	① 吉田商工会、分水商工会の合併について、市長の考えを伺います。 ② 吉田商工会と分水商工会の合併スケジュール等について、市は把握されているか。最終合併は、令和7年と聞いていますが、枠組みについては、令和3年度に一定の結論を出すとしている。市は合併に対し、要望、希望等を提出する考えはあるか。また、提出済かを伺います。 ③ 両商工会に対し、市は毎年約2,000万円の補助金を出されているが、これから合併までと、合併後の補助金はどのように考えられているか。 ④ 商工行政は市の基幹となる大切な産業の一つでもあり、また、会員の商店、中小企業はすべて市民であります。コロナ禍の中、疲弊しており、商工会を通じての対策を密にしなければならないと思うが、考えを伺います。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
14	宮路敏裕(一問一答方式)	1. 公共交通について	(1) 燕市コミュニティバス実証運行について	<p>① 地域住民のニーズなどを踏まえ、新規路線の開設に向けた調査の一貫としての実証運行について、利用の現況を伺う。</p> <p>② 利用者、及び路線地域住民の意見などの把握は行われているのか伺う。</p> <p>③ 実証運行後、課題を踏まえた方向性の検討はどう進めるのか伺う。</p>
			(2) 燕・弥彦地域公共交通網形成計画について	<p>① 計画には地域住民のニーズや、県央基幹病院の開設を踏まえたスワロー号、やひこ号の運行再編の方針があるが方向性について伺う。</p> <p>② コミュニティバスの利用促進に向けて、地域の主体的なイベント等取り組みの支援についてうたっているが現況はどうか伺う。</p>
		2. 生活保護制度について	(1) 生活保護行政について	<p>① 厚労省は生活保護申請数を、速報値8月分が前年同月比10%増で、4ヶ月連続増と発表した。引き続き厳しい経済情勢の反映と言われているが、本市の本年度相談、及び決定件数の現況、また昨年比ではどうか伺う。</p> <p>② 生活困窮しても、ためらう要因の一つに申請の際の扶養照会があるが、その実務運用の改定が本年2月と4月に厚労省が通知している。内容について伺う。</p> <p>③ 親族へ送付し回答を求める扶養届の項目内容について伺う。</p> <p>④ 生活保護制度の周知について伺う。</p>
15	長井由喜雄(一問一答方式)	1. 市の鳥「燕(ツバメ)」の飛来拡大の取り組みについて	(1) 燕市の由来ツバメの飛来拡大と保護について	<p>① 燕市は市の鳥をツバメと制定したが、近年ツバメの飛来が減ってきていると言われる。全国でただ一つ鳥の名前を冠した自治体として、ツバメの飛来拡大、保護育成に行政として取り組んで行くことを提起するがいかがか。</p>
		2. 就学援助の拡充について	(1) 国が示す補助対象品目と燕市の補助の現状について	<p>① 申請機会の現状についてはどうか。どのようなタイミングで就学援助について知らせているか。申請の状況と却下の状況はどうか伺う。</p> <p>② 現在、国は就学援助ポータルサイトにおいて補助対象品目を次のように示している。</p> <p>「学用品費・体育実技用具費・新入学児童生徒学用品費等・通学用品費・通学費・修学旅行費・校外活動費・医療費・学校給食費・クラブ活動費・生徒会費・PTA会費・卒業アルバム代等・オンライン学習通信費」</p> <p>この14品目を燕市の現状と比較したとき、「体育実技用具費・通学費・クラブ活動費・卒業アルバム代等・オンライン学習通信費」が適用されていないのではないか。最低限、国が示す対象品目を補助するべきだ。これまで、なぜこれを当てて来なかったのか、適用した場合の人数、予想額などはどうか。当局の考えを伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
15	長井由喜雄(一問一答方式)	2. 就学援助の拡充について	(2) 準要保護世帯の基準緩和について	① 燕市の「就学援助実施要綱」では、準要保護の対象を、生活保護基準の1.3倍以下のものとしているが、昨今の生活労働環境や、コロナ禍での社会状況の変容を勘案したとき、これを引き上げることを求めるが考えを伺う。
		3. 川と市民が共生する取り組みについて	(1) 大河津分水通水100周年記念事業について	① 大河津分水通水100周年事業は、今年度プレ事業としていくつかの事業が実施されてきたと思うが、その成果を伺う。 ② 来年度がちょうど100周年の年となるが、事業について継続や新たな取り組みの考えを伺う。
			(2) 川を生かす取り組みについて	① 川を市の観光資源とすること、そして水害の観点からは場合によっては水害の大元となることも含め、川と市民が共生する取り組みについて、これまで質問してきた。大河津分水路、信濃川、中ノ口川、西川などを持つ燕市として、市民が川と触れ合うこと、川を観光資源として生かすことについての考えを伺う。 ② 異常気象により川が氾濫する例は、国内でも毎年のように起きている。燕市もそれに備えることが必要であると考えるが、水害を経験した自治体ではEボートを保有し、川と触れ合うイベントなどで活用もされている。 燕市が何かしら絡んだ事業で、他市から借りた例は承知されているか。燕市も川と触れ合うことと、災害時の活用を視野に、大河津分水通水100周年事業とも絡め、Eボートの所有を検討してもらいたいがいかがか伺う。
16	タナカ・キン(一問一答方式)	1. 松長小学校の今後の在り方について	(1) 複式学級と統合について	<p>燕市教育委員会・学校教育課が発行している「まつなが通信」第1号は、令和元年11月29日に開催した松長小学校の「地域・保護者説明会」の様子を載せている。</p> <p>この時、令和5年度から複式学級になることや、複式学級を避ける場合には令和5年度から他の学校との統合と回答している。</p> <p>① 2年経過し、「まつなが通信」も令和3年11月1日で第7号が発行されている。これまでの経緯について伺う。</p> <p>② 最初の資料では、児童数・学級数の推移と見込みが、令和5年度から複式学級となり、7年度には複式学級は2学級となる。8年度と9年度の見込みについて伺う。</p> <p>③ 令和2年度は、1学年12人の見込みであったが、実際は9人の入学であった。理由について伺う。</p> <p>④ 学校とは将来、社会という人の集まる集団の中で生きていくために、学力・体力を身に付け、活動することで集団の中での自分の有り方、コミュニケーションの取り方を学ぶ大切な場である。これらを考えると複式学級は決してよい教育環境といえるものではない。市の考えを伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 ( 小 項 目 )
16	タナカ ・キン (一問一 答方式)	2. 市展につ いて	(1) 審査のあり 方について	<p>応募者や応募点数が年々減っている中で、打開策について伺う。</p> <p>①市展では、作品解説の日を設けていて、各部門で審査された先生が、展示されている作品の前で1点ずつ解説を行うことになっている。出品者の多くが解説を聞いて作品づくりの参考にしようとして耳を傾けている。</p> <p>書道部門で起きたことである。ある作品には「これは汚いですよね」と言い、別の作品でも「こんな作品は出品するよりも、家に飾ってあげればいいですね」と、解説者にあるまじき失礼な発言を行ったというのである。</p> <p>その場で聞いていた出品者を傷つける発言で許せるものではない。解説者が出品者のやる気を無くす発言をするようでは、出品者が増えるわけがない。この件について市はどう考えるのか伺う。</p> <p>②「新」燕市になって今年で16回を数える市展である。日本画の審査員は毎年変わっているが、他の部門では2年連続しているケースも多くみられる。これも出品者の減少の1つであるが、市の方針を伺う。</p> <p>③燕市では作品審査の日、作品の解説、審査の先生方と出品者の懇親会が別の日に行われている。しかし、県内ではこれらが同日に行われている自治体も増えている。検討の余地があると思うが伺う。</p>
			(2) 会場の設 営 について	①会場は産業会館の大ホールで、パネルを設置して作品を展示している。パネルが床から立ち上がって、向こうが見えないものもあれば、下の方が空いて見苦しいと感じる設置もありバラバラである。理由について伺う。
		3. 文化祭に ついて	(1) 会場の設 営 について	①秋は市展をはじめ、各地区で文化祭が催され、観る者の目を楽しませてくれる。市展や中央公民館・産業会館での文化祭は、会場の設営については、シルバー人材センターに委託してパネル等を設置するのだという。それ以外の地区公民館での文化祭は地域の人たちがやっていると思うが、この違いは何なのか伺う。